

亀城

題字：書道家 平田 洋香

第 38 号

発行日：令和2年3月17日
 発行：一中地区市民委員会
 編集：文化広報部会
 事務局：一中地区公民館内
 TEL：029-821-0104
 世帯数：9,265戸
 人口：19,503人
 (令和2年2月現在)



同好会だより パステル画同好会

代表 三浦 美智子

平成十四年、
公民館講座「はじめのパステル画」が開かれ、
私達は初めてパステルという画材を手にしまし



た。その後、続けたいと思った数人が、「彩恋人」と会の名前をつけて、パステル画の同好会を結成しました。講師をしてくださった、故平塚正義先生の、自由なあふれる色使いに憧れ、パステルの色の美しさに魅力を感じたからです。先生から構図の取り方、影の描き方など、ていねいに教えて頂きました。色に親しみ、色と遊ぶこと、習うより慣れることが大事なことを学びました。

パステル画の特徴などを紹介します。画材屋さんには、何十種類も色のグラデーションで、化粧品のようなパステルが並んでいます。見ていただけでもうっとりします。たくさん色の色の中から、「この色だ。」と見つけた時は、うれしいものです。パステルは、顔料の粉末を固めて

スティック状にしたもので碎け易いものです。紙の画面にちよつとつけて指でこすって広げることができ、楽しいのです。練り消しゴムで消したり、筆で払ったり、描き直しも簡単です。塗る時の力の入れ具合、色の選び方の違いで個性がはつきり出ます。色の混じり合いで、柔らかい暖かい感じの作品が仕上がりに、塗り重ねていくことで味が出ます。色の粉が落ちないように画面に止めるためにフィキサチーフ（定着液）を吹きつけて仕上げます。有名な「ドガの踊り子」や、「ムンクの叫び」などもパステル画作品です。

活動は、月に二回、土曜日の午前中、会議室をお借りして実施してい



ます。各自が好きな題材で、お互いに批評したり、誉め合って自信をつけたり、和気あいあい、楽しく製作しています。

グループ展を開いたりしながら技術を磨いてきましたが、諸事情で会員数は半減、寂しい状況です。描くことの好きな方、この手軽でありながら深い表現ができる、パステル画を描く仲間になりませんか？

同好会だより アマリリス会

アマリリス会は、楽しく踊って健康づくりをモットーに、フォークダンスを練習しているサークルです。

例会の時は日常生活を離れて世界各国の楽しい音楽、美しいメロディーに合わせ、目で見て耳で聞き、頭と体を動かし、程良い運動と脳の活性化を促す事も目標のひとつです。

高齢化の波はフォークダンスのサークル全体に押し寄せてきており、私達、アマリリス会も六十代・七十代が中心の小さなグループですが、毎週集まり、誰でもすぐに踊れるダンスを中心に楽しい曲に合わせて、体を動かす事で日頃のストレス

も何処かに吹き飛ばされるのでしょうか、例会後は皆さん活き活きと笑顔で帰って行きます。

フォークダンスは実年齢よりも若々しく見えるのでは、と自負致しております。

その他にも、フォークダンスには他の運動やダンスには無い特徴があります。

手と手をつなぎ、お互いに助け合い楽しむ事です。

大人になると、家族とも友人とも、手をつないで何かをする事はほとんど有りませんよね。

フォークダンスを踊る時は皆でサークル（輪）を作り両隣の人と連手する事が多いです。その日、初めて出会った見ず知らずの方でも一曲踊ったら、笑顔を交わせるのです。

「笑顔でコミュニケーション」
あと一つ、踊り終わったら皆で拍手をします。

これは「一緒に踊った相手に」「皆に」「最後に自分にも」、楽しいひと時を過ごせた事への感謝の意味です。ただ、踊りを覚えて上手に踊るのでは無く、忘れがちな「おもいやり」と「感謝」の心で人生を豊かにしてくれると思います。

私達と一緒に、フォークダンス

を楽しんでみませんか？

見学は大歓迎です。一度、体験してみてください。会員募集中です。

◎例会日は

・ 毎週月曜日（奇数月の第一月曜日は公民館清掃日の為、休みです。）

・ 場所 一中地区公民館二階

集会室又は会議室

・ 時間 午後一時三十分～

三時三十分

・ 会費 月七百円



中国語しゃべり隊

◎同好会だよ

私たちが毎日気が付かずに使っている言葉のなかには、多くの中国語が入り込んでいます。文字を含めて、日本語に与えた影響がとても大きな言語です。中国語の勉強を通じて、我々の言葉や文化のなかに、新たな発見をすることもあります。

近年いろいろな分野で影響力を増しつつある中国ですが、中国人が使う言葉は方言も多く、方言同士ではコミュニケーションが難しい場合があるので、「普通話」という言葉が共通語として使われています。私たちは、この普通話の勉強をしています。この言葉を話すことができれば、中国人のみならず、中華系の人たちとのコミュニケーションが図れます。

第二・四水曜日（午前十時から十二時）には、中国語会話を中心に、中国出身の先生を交えて勉強しています。また、第一・三水曜日は自習にあてて、皆で中国語の勉強会を開いています。

この会が発足して、もう、数年になります。和気あいあいとした雰



囲気です。中国語の勉強とともに、いろいろな知識や情報の交換の場でもあります。勉強の前には、軽く運動をしたり、勉強の後には昼食を一緒に食べたということがあります。少人数ではありますが、参加者にとっては、生活の潤滑油になっている様に思います。

本年度の環境部事業報告



環境部長
富田 祐

日頃は、環境部に対しましてご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。計画された各行事もほぼ予定通り行われましたこと、併せて

お礼申し上げます。

本年度も残り少なくなりましたが、地域住民等の協力により事業計画は順調に推移し、残すは視察・研修のみとなりました。住民多数の方々の視察・研修への参加をお待ちしています。

本年度は土浦市の協議会などの各種行事に参加しましたので事業報告と併せて月次ごとにご報告します。

（六月二十日）

さわやか環境推進員の研修で土浦市清掃センター・土浦市一般廃棄物最終処分場の見学・研修

（九月二日）

土浦市家庭排水浄化推進協議会による霞ヶ浦水質浄化キャンペーンに参加

（十月二十七日）

土浦花火競技大会終了後の清掃活動

（十月三十一日）

三澤一紀先生による

花いっぱい運動花壇づくり講座

（十一月十七日）

公民館まつり

空き缶・ペットボトル回収抽選会、花種と環境にやさしい生ごみ再生肥料の配布



(十二月八日)

土浦市環境基本計画推進協議会による日本最大級の環境展示会「エコプロ二〇一九」の見学

(十二月二十日)

土浦市環境基本計画推進協議会による「節電キャンペーン」

・イオンモール土浦店
・ジョイフル本田荒川沖店

尚、ポイ捨て防止看板の設置は、土浦市の環境展に小中学生のポイ捨て防止ポスター展示後に設置予定でしたが、台風十九号の接近により環境展が中止となりましたので実施時期を含め検討中です。

令和元年度も市民生活部並びに地域住民のご協力により、つつがなく事業が遂行できましたことを感謝申し上げます。

文化広報部の活動を通じて



文化広報部長
新井 幸男

私は、一中地区市民委員会の文化広報部に関わるようになって約八年、当初は編集委員として携わり、ここ四年は編集部長として活動してまいりました。

これまでの活動を通じて自分なりに感じ取ったことを記したいと思います。

一つは、文化広報部における年間の主たる活動である、春・秋、年一回発行の広報紙「亀城」についてですが、これまでの間、一中地区の各戸にその都度配布されてはいるもの

の読まれている割合は低いと感じていました。何とか沢山の皆さんに読まれるようにと、編集委員と話し合いながら、文字の大きさ・字体・紙面のカラー化等、目を引き読んでもらえるように工夫を凝らしてきましたが、正直まだまだと感じています。

これからも幅広い年齢層から手にとって見て読んで貰うためには更に、若年層からの寄稿を増やすとか、また、寄稿された作品に限らず、興味を持って目を通して貰えるような紙面作りにも更に工夫を凝らすことが必要と感じています。

二つ目は、文化広報部員の親睦と交流を深めたいとの趣旨から毎年秋口に交流会を行っています。

昨年は、真鍋の食事処「つじ山」にて参加者は十一名でランチ会を行いました。

今回、食事をしながら自己紹介をしていただきましたが、私はこれまで交流会を行ってきたものの、参加された会員の皆さんと何気なく会話をしてきただけであったことに改めて気づかされました。

というのは、自己紹介によって各人のこれまで知らなかった生い立ち、人生体験、趣味や現在取り組んでいる事等多岐に亘り深く熱い話を

聞くことが出来たことです。中には土浦の城主である土屋家の血縁の方もいたなど本当に驚きでした。

私は現在、土浦市の種々の会に所属し会員の皆さんと会う機会は多いものの、正に浅く広くの付き合いであったと思います。

今更と思われることもかも知れませんが、人々と関わる機会が多い中で、全てに深く付き合うことは出来ないものの、時には深く語り合う事が大事なことだということを改めて感じるところです。



家を建てるごとき等の事前調査

穴塚 佐藤 春治

最近地震や台風による集中豪雨などで、住宅が床下浸水等で被害が多く発生している。土浦でも過去に水害に遭っている。建物の被害を少なくするためには事前に土地の状況の確認をする必要がある。

その土地の状況を把握するためには、現在の位置や購入する土地、新築する位置、それぞれの土地の環境を調べる。まずは、その場所が河川に近いか、用水・排水路の流れは良いか、地盤が低いところがないか、などを多方面から調べる。

それをどのように調べるかは、多種あるが、過去の地形がどのような地形だったかを調べたいときには、古い地図や空中写真がベストです。

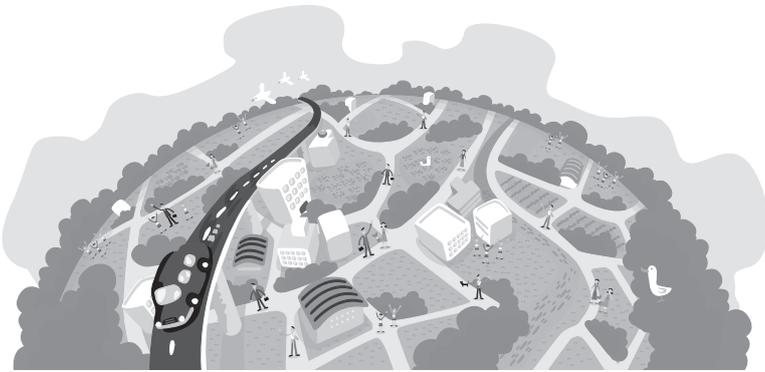
国土地理院（つくば市北郷1番）には、過去の地図や地形を撮影した空中写真があるので、それらを閲覧することによりどのような地形であったかがよくわかる。

近年の災害では、過去の地図や空中写真で観ると明らかに危険な箇所

所であることが判明している。特に最近では液状化が話題になっているが、その情報を把握していて、それで施行時の対策を講じていけば、家が傾いたり下水が逆流することもない。

また、新築や改築では、少なくとも道路の高さより1m程盛り土をして基礎を築く。或いは地盤の高いところを選定する。

このように土地の形状や状況の調査を事前に確認することをお勧めする。



新入図書を紹介

一中地区公民館にも小さいながら図書室があります。ぜひご利用ください。



渦 妹背山婦女庭訓 魂結び (第 161 回直木賞受賞作)	大島 真寿美／著
むらさきのスカートの女 (第 161 回芥川賞受賞作)	今村 夏子／著
メモの魔力	前田 裕二／著
たゆたえども沈まず	原田 マハ／著
影法師	百田 尚樹／著
Story Seller	新潮社ストーリーセラー編集部／編
アナと雪の女王 かぞくのおもいで	児童書



一中地区市民委員会専門部の活動紹介

「市民委員会」とは、町内会（自治会）をはじめ、子ども会育成会、婦人会、PTA、学校、高齢者クラブなど地域住民の皆さんから構成されている組織です。

市民委員会には6つの専門部が設置されており、各地区から2名程度が各専門部の部員として選出され、様々な活動に参加しています。

◆福祉部



高齢者施設への傾聴・イベント時のボランティア活動や研修会などを行っています。

◆環境部



花火大会後の清掃活動、ポイ捨て看板の設置や視察研修などを行っています。

◆安全部



AED操作法・救急救命講習、防犯のぼり旗の作成・配布や視察研修などを行っています。

◆文化広報部



地区広報紙「亀城」の発行、協働まちづくりシンポジウムポスターセッションなどを行っています。

◆スポーツ健康部



スポーツ体験教室、街歩きウォーキング、バスハイキングや体協共催グラウンドゴルフ交流会などを行っています。

◆青少年育成部



小学4～6年生からなるチャレンジクラブ員の様々なチャレンジ活動を支援しています。

土浦市社会福祉協議会中央支部事業の紹介

土浦市社会福祉協議会中央支部では皆様からいただいた社協会費を財源とし、「支えあい・助け合う」ふれあいのあるまちづくりを目指し、地域福祉の様々な活動を行っています。

ボランティアサークルたまき会

高齢者へのお弁当作りのボランティアとして月2回活動しています。

年に一度、調理に関する研修を行い、日頃の活動に活かしています。



まごころひめて♡
作ってまーす

宅配型食事サービス事業

高齢者へのお弁当作りのボランティアとして月2回活動しています。

年に一度、調理に関する研修を行い、日頃の活動に活かしています。



会食型食事サービス事業



コーラスがぁみゅと合唄♪

70歳以上のおひとり暮らしの方をお招きし、ボランティア手作りのお弁当を食べ、地域で活動している同好会などを鑑賞し、楽しいひと時を過ごされています。

ひとり暮らし高齢者交流会



アクアパーク品川で、
イルカショーを見学

70歳以上のおひとり暮らしの方を対象に、日帰り旅行を開催しています。同じ地域の方との交流や外出を楽しみに参加されています。

福祉体験講座



福祉を身近に感じていただくため、土浦小学校やアール医療情報ビジネス専門学校の児童・生徒のみなさんに、インスタントシニア体験や車いす体験を行っています。



ふれあいきいきサロンの紹介

★生田町いきいきサロン

土曜サロンを行っています。昔、懐かしい歌謡曲を歌ったり、輪投げをし、楽しく活動しています。



町内を拠点に、住民同士が協働で活動内容を企画し、運営していく仲間づくりの場として、一中地区では2町内のサロンが活動しています。社会福祉協議会は、サロン活動を応援します。

★いきいきサロン大手町

毎年恒例の日帰り遠足、日頃の悩みを解決するための講話、尚恵学園の生徒さんたちとの交流、地域を超えた、地域ぐるみの活動を行っています。

その他支部事業

- ・中央支部役員会
- ・中央支部委員会
- ・中央支部委員研修
- ・車いす貸し出し
- ・社協だよりの発行

ふれあいネットワーク

身近な福祉の窓口として、一中地区の要援護者とその家族を対象に、自宅への訪問相談や専門機関の情報提供、行政や医師などによる専門職との定例会議（スクラムネット・ふれあい調整会議）などを行っています。

困っている人を助けるネットワーク



スタッフ

社協中央支部の須藤です。一中地区の皆様とより住みやすい地域を作りたいと思っており、
「こんな地域にしたい」、「こんなことに困っている」などありましたら、ぜひ私までお声掛けください。

龜俳句会(同好会)

野兔に畝のひとつず許しけり

稲葉 由美子

満員のエレベーターに冬の蠅

今泉 準一

散り菊で終る線香花火かな

今泉 晴美

客帰る時は小さき今日の月

垣内 かをり

気短の口に鬼灯ほぐさるる

金岡 景子

廃校に残る落書文化の日

河口 美津子

炎天下ビル噛み砕く重機かな

矢口 征子

ベテランの患者となりて冬に入る

渡辺 ふみ子

短歌

雪原に吐く息白し丹頂の鶴

啼き交わすは身を絞りつつ

櫻井 雅江

白加賀の梅咲く頃かふるさとの

届けくれたる父いまは亡し

瀬古澤 和子

歌の奥隠されしもの読み取れば

三十一文字も物語なり

齋藤 順子

紅椿つらつらに咲きはらりおつ

雪無き庭に淡雪の欲し

井上 寛江

庭さきの色の香りに誘われて

見あげた花と月は歌うよ

桑田 今日子

騒がしき庭垣間見て動く影

今宵は激し野良猫の恋

陽だまりの縁側にある猫ちぐら

まだ居る気がして亡き猫想う

柴沼 恭子

編集後記

令和となつてあつとつう間に二年となりました。

今年は暖冬の日々が続いており、早々に桜咲く春を迎えることになるのではないのでしょうか。

更に、今年は二〇二〇東京オリンピック、パラリンピックが七月に開催され日本中がオリンピックムードで盛り上がる年となるでしょう。

さて、今号は昨年秋、一中地区在住の多くの皆さんが来場され盛大に開催された一中地区公民館まつりの状況を一面に写真で掲載させていただきました。ご参加された皆さんに感謝・感謝です。

また、本号も大勢の皆さまに寄稿頂きまして、編集委員一同心より感謝申し上げます。

(本号の編集担当者)

新井 幸男/田中久美子
石川 幸子/梅木 逸夫
岡部 恒文/小野村一博
加藤 節子/佐藤 春治
進士 武之/宮口 五郎
山本 敦子/横山 光栄